

映画のまち調布 シネマフェスティバル2026	2・3
物価高対応子育て応援手当	4
農業体験ファーム利用者募集	9
デフリンピアンが市長を表敬訪問	11
出張！映画資料室-ロケ地でめぐる調布-	16

ちようふ

SCREENS

映画のまち調布 シネマフェスティバル 2026

2月6日(金)～3月1日(日)

at イオンシネマ シアタス調布
文化会館たづくり
グリーンホール

『となりのトトロ』上映記念
特別企画を実施！



(株)スタジオジブリ
ポストプロダクション部
部長 古城 環さん

問 (公財)調布市文化・コミュニティ振興財団 ☎042-441-6150 (文化生涯学習課)

詳細は2・3面をご覧ください ➡

手をつなぐ樹 478

いのち短し

昨年末に仕事で都心に赴いた際、たまたま以前四半世紀以上勤めた職場の横を通りかかって驚いた。港区虎ノ門、アメリカ大使館やホテルオークラに近接した旧共同通信会館。その6階から9階が組織の拠点だったのだが、建物全体がすでにシートに覆われる、言わば「簀巻き」状態になっていたのだ。

その地域一帯の再開発事業のためにいずれ取り壊されることは耳にしていたのだが、まるで負傷した兵士が包帯でぐるぐる巻きにされたようなありさまを目の当たりにすると、当然さまざまな感情が押し寄せてくる。そして、星の数ほどの思い出があたかも北極の水がすさまじい勢いで崩れ落ちるかのごとく、頭の中で砕け散っていく。

もしもあの26年間の記憶が雲散霧消するとすれば自分の人生全体が無意味に思えてしまいかねないが、ことほどさように心のよりどころを失うというのは虚しく悲しいものだと思感する。

ビルが除却されたのちに新たな建造物の計画はなく跡地は公園になる予定だが、その公園が完成したとき、果して私は足を踏み入れるだろうか。そして、もしブランコがあるとすればその揺れに身を任せるだろうか。

黒澤明監督の名作「生きる」において志村喬演じる主人公が人生の哀歓を噛み締めるかのよう口ずさんだゴンドラの唄が、耳の奥底から聞こえてくる。

調布市長

長友 貴樹

